

むくのきだより 10月号



令和7年10月1日 港区立赤羽幼稚園 園長 中村 美奈子



運動会 ～体を動かす楽しさを感じて～

園長 中村 美奈子

記録的な暑さが続いていましたが、朝晩は涼やかな風がピロティを吹き抜けるようになりました。赤羽幼稚園の子供たちは、組み立てプールを片付けて広くなった園庭で元気に遊んだり、ねこまるいけ(ビオトープ)の周りで虫取りをしたりしています。

9月27日(土)に赤羽小学校の体育館で運動会を開催しました。たくさんの保護者・ご家族の皆様、地域の皆様にご来場いただき、感謝申し上げます。年少さくら組の子供たちは初めての運動会。探検隊になって走ったり、発見した動物の動きを表現したり、かわいいダンスを披露したりしました。年長ゆり組の子供たちは、音楽や「ソイヤ！」の掛け声に合わせてカッコいい動きを考え、元気いっぱい表現しました。リレーは、チームで話し合って走順を決めました。本番は、大接戦で、応援する皆さんも力が入ったのではないのでしょうか。年長ゆり組の子供たちは、プラカードを持って入場行進の先導をしたり、司会や体操・競技のお手本をしたり、係の仕事も頑張りました。大勢の観客の前で自分の仕事をやり終えると、子供たちは、ほっとした表情や、少し誇らしげな表情を見せていました。

昔の子供に比べ、最近の子供は体力がないと言われることがあります。3年ごとに実施している「東京都公立幼稚園・こども園5歳児の運動能力に関する調査」では、平成28年度・平成31年度・令和4年度を比べると運動能力が低下傾向にあるという結果が示されました。加えて、子供たちが遊んでいる様子を観察し、基礎的な動き(30種類)の出現傾向を調査したところ、運動能力の数値が高い子供も低い子供もよくする動きやそうでない動きの傾向は同じでした。

では、違いは何でしょうか？それは、運動能力の低い子供は、「あるく」「はしる」「たつ・しゃがむ」の3つの動きだけで全体の3割を占めていて、動きに偏りがあることでした。運動能力の高い子供は、遊んでいるときに「かわす」「おりる・のぼる」「ぶらさがる」「なげる」「まわる」「うける・うけとめる」「わたす」「ける」「ころがす」「くぐる」「まわす」など、いろいろな動きをしていました。今、小学校1・2年生では、体育の授業で「体づくりの運動遊び」を行っています。これは、将来の体力向上につなげていくため、この時期に様々な基本的な体の動きを培っておくことが重要であるということから、現学習指導要領に取り入れられました。「体づくりの運動遊び」では、子供たちが伸び伸びと体を動かし、体を動かす楽しさや心地よさを味わえるような活動をします。赤羽幼稚園でも、いろいろな動きができるような遊具や場を整えたり、講師を招いて「走り方教室」や「タグラグビー教室」を開いたりしています。運動会では、親子競技や親子体操にご参加いただき親子でいろいろな動きに挑戦していただきました。ご家庭でも、親子のスキンシップも兼ねて、いろいろな運動・遊びを生活に取り入れられてはいかがでしょうか？

